

農業の新しい技術

No. 674(平成26年5月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

きくつるイーティーアイ 褐毛和種種雄牛「菊鶴ETI」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：安武誠至

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び産肉能力により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 肉質および枝肉重量、ロース芯面積が優れた褐毛和種種雄牛「菊鶴ETI」を選抜した。

○血統

父 菊光丸 (高等 86)	祖父 第三光丸(高等 71)	— 光武(高等 58)
	祖母 なみふく☆(育高 614)	— 光重ET(育高 1)
母 あじさい (繁殖 21528)	祖父 第十六光重(育高 2)	— 光重ET(育高 1)
	祖母 第四みつつる(繁殖 12440)	— 第三光丸(高等 71)

○登録番号：繁殖 170

○生年月日：平成20年5月7日

○生産地：玉名市（(独)家畜改良センター熊本牧場）

2. 現場後代検定成績および育種価

○ロース芯面積は去勢 54.6cm²、雌 57.6cm²と優れており、育種価でも+10.71(評価種雄牛 491頭中4位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○枝肉重量は去勢 503.7kg、雌 479.7kgと優れており、育種価でも+52.54(評価種雄牛 491頭中4位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○脂肪交雑(BMS No.)は去勢 3.75、雌 3.43で優れており、育種価でも+2.01(評価種雄牛 491頭中16位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

○SBVは1日当増体量 4.64、脂肪交雑 2.60、ロース芯面積 4.18、枝肉重量 3.22と改良効果が大きいと推定される。

※SBV(標準化育種価)は、育種価評価値を個体の特徴を明確にするために、数値に変換したもの。

3. 特徴

枝肉重量と1日当たりの増体量が極めて優れていることから増体性の改良に有効であり、脂肪交雑やロース芯面積といった肉質についても優れている「菊光丸」の後継牛として期待される種雄牛です。



菊鶴E T I (きくつるイーティーアイ)

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	と畜前 体重 (kg)	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積 (cm ²)	バラの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)
去勢	8	756.9	503.7	3.75	54.6	7.8	4.2
雌	7	721.7	479.7	3.43	57.6	7.6	3.8

表2 育種価(BV) (H26.2評価)

	1日当たり 増体量	枝肉重量	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積	バラの 厚さ	皮下脂肪 の厚さ
順位	9	4	16	4	73	489
育種価 (正確度)	134.79 (0.83)	52.54 (0.85)	2.007 (0.89)	10.71 (0.83)	2.97 (0.84)	11.30 (0.88)

※ 後代頭数17頭(フィールド成績を含む)

※ 順位は評価種雄牛491頭中の順位